

1月  
学校だより

＝板宿小学校教育目標＝  
心豊かに 学び合い、  
たくましく生きる 板宿の子

# いたやど



令和7年1月  
神戸市立板宿小学校  
<https://www.kobe-c.ed.jp/ity-es/>

あけましておめでとうございます！

出会いを大切に・・・。

旧年中は運動会、音楽会などの学校行事でのあたたかい見守り、また、毎日の子供たちへのご支援等、本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

2025年の始まりです。今年は巳年、本来の干支で言うと「乙巳（きのと・み）」です。「これまでの努力や準備が実を結び始める時期を示唆している」と言われている縁起の良い年だとか…。大きな飛躍の1年にしたいですね。

1月、学校では各学年とも締めくくりの3学期となります。そして新年度への進級・進学に備える準備の3学期でもあります。3学期は1年間の総まとめ、総仕上げをして一人ひとりが自分のよさと可能性を見出す学期です。希望や高い目標をもって新たな年度に向かうようリードしていきたいと考えます。



年末机まわりの掃除をしていて、1枚の賀状を見つけました。先輩からいただいたもので「こんな言葉を見つけました。」と添えてありました。「縁尋機妙（えんじんきみょう）」、「多逢聖因（たほうしょういん）」です。東洋哲学者の安岡正篤氏が説かれた言葉で、それぞれの意味は、「縁尋機妙…よい縁がさらにより縁を尋ねて発展していく様は誠に妙なものである。」「多逢聖因…よい人に交わっていると気づかないうちによい結果に恵まれる。」です。

その言葉を見るにあたり、気づかぬうちに今まで出会ってきた人たちのことを思い出していました。いつも最後まで話を聞かず、すぐに飛び出していくわたしに「言葉には言霊があり、その人の思いがこもっている。その言霊はあなたにむけてのもの。それを受け止めないとはい…。」涙を流して諭してくださった小学校時代の担任の先生、授業の記憶はありません（すみません…）が、いつもドッジボールと一緒にやってくれた覚えがあります。そして学校が大好きになり、この職に就くと進路を定めました。先生となり右も左もわからずおろおろするわたしを教室に招いて下さり授業を通して、子供たちの姿を通して教育を語ってくださった尊敬する先輩教師との出会い、「学校大好き」があふれる教室、学校を創りたいと思いを固めたものです。出合いは「人」だけではありません。スポーツとの出会い（わたしの場合は主にテニスですが）。目標をもち継続することの大切さ、そしてどんな形にしるそこには結果がついてくるということも知りました。司馬遼太郎の歴史小説との出会い。今でいう「聖地巡礼」のように桂浜に立ち、萩の街を探索し、時間の流れに静かな興奮を感じました。もちろん、何が良くて何が悪いのかという判断も難しいところではありますが…。このように人、言葉や本、テレビ、ネット、スポーツなどのありとあらゆる事象（＝時間や場所、出会うタイミングすべて）が自分の人生において影響を与えるのであればよい出会い＝よい縁となるのではないのでしょうか。

2025年もきっといろいろな人と、さまざまなものと出会うこととなるでしょう。その出会いは絶妙のタイミングであなたの縁がもたらすもの。よい出会いとなるよう、一つひとつの出会いを大切にしてほしいと思います。

あわせて今年は阪神淡路大震災から30年という節目の年となります。昨年の能登半島地震の様子を見るにあたり、あの日の神戸を思い出さずにはられませんでした。その節目の年としてふりかえり、大事なものの、大切にしたいことを考えていきたいと思えます。

冒頭にも書かせていただきましたが、日頃よりご支援いただいておりますこと、心より感謝申し上げますとともに、本年も引き続きご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

校長